志村坂下小だより

１０月号　令和５年９月２９日
http://www.ita.jp/edu/sakaes/　東京都板橋区立志村坂下小学校
「FLC学びのエリア」（fight・learn・clean）「志四中」「坂下小」「緑小」「志村小」「北前野小」　校長　松野　薫子
目指す児童・生徒像＝「よく考え進んで学ぶ子ども」「心豊かで思いやりのある子ども」「ねばり強くたくましい子ども」

楽しみを自分たちの力で

校長　松野　薫子

今週、５年生は榛名移動教室に行ってきました。初めての宿泊に心躍る子もいれば、胸いっぱいの不安を抱えての参加だった子も居たと思います。お子さんを送り出してくださったご家庭も、大丈夫かしら？と２日の間に何度もお考えだったのではないでしょうか。始まってしまえばあっという間です。帰校式では「もう一泊したかった」という声がきかれ、充実した一泊二日でした。

素直で礼儀正しい５年生は、お世話になった方々全員にほめていただくくらい頑張りました。高学年だから当たり前、と思われるかもしれませんが、これは子供たち自身が、もっとよくありたい、と願い努力した結果です。出発式よりもさらに姿勢よく話を聞く姿が見られた帰校式。その成長を私たちもおおいに喜びたいと思います。ご紹介したい場面はたくさんありますが、私が特に頑張っていると感じたのは、キャンプファイヤーです。マイクを持ち、進行を担うレク係の「みんなに楽しんでもらおう！」という意欲と、そのレク係の指示で活動する他の子供たちの「今この時をみんなで楽しもう！」という気持ちの相乗効果で、おおいに盛り上がりました。外向きの活動だけでなく、ともすれば気持ちが緩みがちになる自分たちだけの活動でも全力で取組む姿が良いのです。大人も子供も、きっとあの光景を忘れられないでしょう。大事な時間を過ごすことができました。

校内生活の中でも、感染予防対策でここ数年できなかった行事が少しずつ戻ってきました。そのひとつに「坂下まつり」があります。２年生以上の各学級で遊びのお店を開き、他の学年の児童に遊びに来てもらう、というものです。

前回の「坂下まつり」の開催は４年前の令和元年でした。その時にお店を開いた経験があるのは高学年だけ。当時を知る教員も多くはありません。経験が少ないながらも、子供たちは各学級の学級会で遊びの内容を話し合い、お店の準備を進めています。ひとつの大きな遊びに決めた学級もあれば、ミニゲームを複数組み合わせた学級もあります。

決定までのいきさつはいろいろあるようですが、今はルールなどを吟味して、どの学年の子供も楽しめるように、と工夫を凝らしているところです。

人に喜んでもらえるにはどうしたらよいのか考え、それを実行するというプロセスはこれからのどんな場面にも必要となってくる大切な経験になるはずです。人に喜んでもらえたことを嬉しく感じる心を育てていきたいと思います。

先日、近隣のお祭りを廻らせていただきました。どこで出会った子供も笑顔があふれていて、とても幸せな気持ちになりました。町会の皆さま、お世話になりありがとうございました。今の子供たちが大人になったときに、お祭りの運営に携わり、自分の町の次世代の子供たちを楽しませてくれるようになるといいなと、ちょっと先の未来に思いをはせました。